

日本版DMO形成・確立計画

1. 日本版DMOの組織

申請区分	広域連携DMO・地域連携DMO・地域DMO	
日本版DMO候補法人の名称	一般社団法人かながわ西観光コンベンション・ビューロー	
マーケティング・マネジメント対象とする区域	小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町	
所在地	神奈川県小田原市	
設立時期	平成28年6月1日	
職員数	1人	
代表者(トップ人材:法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者)	(氏名) 古川 達高 (出身組織名) (一社)小田原プロモーションフォーラム	一般社団法人小田原プロモーションフォーラムの代表理事として、小田原の集客拡大に向けた事業や情報発信に取り組み、様々な事業で成果を挙げている。
各種データの分析・収集等(マーケティング)の責任者(専門人材)	(氏名) 中嶋 順 「専従」 (出身組織名) (一社)小田原プロモーションフォーラム、箱根プロモーションフォーラム	箱根サンテグジュペリ 星の王子さまミュージアムにおいて、営業・企画・広報・ブライダル担当 取締役部長として広報部門の統括を担う。 平成19年に箱根プロモーションフォーラムを設立(代表理事)。平成25年に(一社)小田原プロモーションフォーラムを設立(理事)。県西地域でのプロモーションに高い知見と能力を持つ。
プロモーション部門の責任者(専門人材)	(氏名) 鈴木 伸幸 (出身組織名) FM小田原(株)	平成17年にFM小田原(株)を設立。小田原城天守閣リニューアルオープン記念事業や箱根仙石原すすき祭りなどの県西地域での各種イベントにおいて広報を全般的に担当、業務総括責任者として従事。各観光地での広範な広報戦略を実践し、観光地域のマーケティングの高い知見と能力を持つ。
特産品開発等部門の責任者(専門人材)	(氏名) 外郎 武 (出身組織名) (株)ういろう	地域との関わりを大切にしながら伝統の薬とお菓子の製造・販売を自社で取り組み、小田原市を中心とした文化継承や観光振興に尽力してきた。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	神奈川県県西地域県政総合センター(地域間連携支援、受入環境整備) 小田原市企画部企画政策課(事務局サポート) 経済部産業政策課(観光振興全般に関すること) 経済部観光課(地場産業全般に関すること) 南足柄市商工観光課(観光振興全般に関すること) 中井町企画課(広報や情報発信に関すること) 箱根町企画観光部企画課(広報や情報発信に関すること) 企画観光部観光課(観光振興全般に関すること) 真鶴町産業観光課(観光振興全般に関すること) 湯河原町観光課(観光振興全般に関すること) 大井町地域振興課(農業・商工・観光振興全般に関すること)	

(別添) 様式 1

	<p>松田町 観光経済課 (観光振興全般に関すること) 中井町 企画課 (観光振興全般に関すること) 山北町 商工観光課 (観光振興全般に関すること)</p>
<p>連携する事業者名及び役割</p>	<p>株式会社ういろいろ (ふるさと名物の開発) FM 小田原株式会社 (プロモーション) 小田急箱根ホールディングス (アクセス改善) 箱根プロモーションフォーラム (プロモーション・ふるさと名物の開発) 小田原箱根商工会議所 (プロモーション・ふるさと名物の開発) 小田原青年会議所 (広域周遊の促進) 箱根温泉旅館ホテル協同組合青年部 (宿泊受入れの拡大) 株式会社 T-FORESTRY (着地型旅行商品) 株式会社 街かど案内所 (プロモーション) 小田原食品衛生協会 (ふるさと名物の開発) (一社)小田原プロモーションフォーラム (プロモーション・ふるさと名物の開発) 神奈川県ラグビーフットボール協会 (誘客促進) 小田原サイクリングプロジェクト (広域周遊の促進) ヒルトン小田原リゾート&スパ (誘客促進)</p>
<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p>(該当する要件) ②日本版 DMO の組織内に行政や関係機関をメンバーとするワーキンググループなどの委員会等を設置すること。</p> <p>(概要) 多様な関係者が理事となる理事会を組織する。関係する事業者や団体、行政担当者で分野ごとの実務的な検討やコンテンツ構築を担当する部会を設置する。</p>
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<p>各地区において、観光地域づくりに関する住民参加型の意見交換会や勉強会を開催している。</p>
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p>(活動の概要) 平成 26 年に発足した「東京オリンピック・パラリンピック神奈川県西部連絡会」は、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたスポーツ・文化振興、地域経済活性化、観光振興のための連携を進めてきた。コアメンバーによる検討の中で観光事業のマネジメントを担う実践的な組織が必要という結論に至り、平成 28 年 6 月に「(一社) かながわ西観光コンベンション・ビューロー」を設立。神奈川県西部を拠点とした集客力の強化や今後の活動に向けた勉強会などの活動を実施している。</p> <p>(定量的な評価) かながわ西観光コンベンションビューローの理事会、DMO 会員の各関係者が一堂に参加する例会を毎月 1～2 回開催し、各市町全体の情報交換や今後の活動に向けた勉強会を行っている。</p>

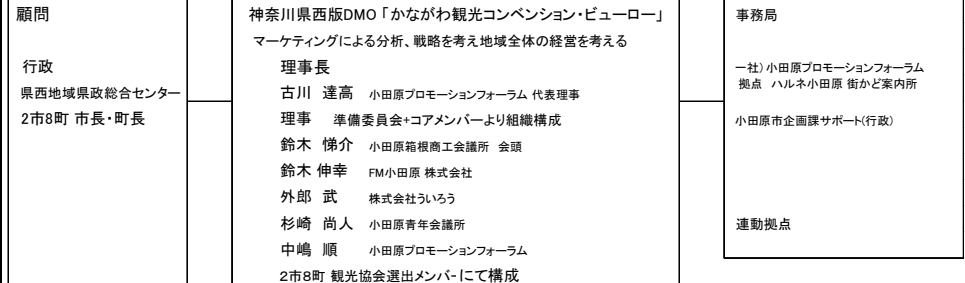
実施体制

(実施体制の概要)

東京オリンピック・パラリンピック神奈川県西部連絡会コアメンバーが母体となり理事会を組織。理事には、商工業団体や関係事業者が参画し、官民・産業間・地域間で密接に連携した運営を実施。

(実施体制図)

組織



広域周遊促進部会	受入環境部会	誘客促進部会
小田原市観光協会 県西地域県政総合センター 箱根町観光協会 株式会社ういらう 小田原箱根商工会議所 小田原プロモーションフォーラム 小田原箱根商工会議所青年部 小田原サイクリングプロジェクト 小田原青年会議所 小田原食品衛生協会	県西地域県政総合センター 小田原市企画課 箱根町企画課 小田原市産業政策課 箱根町観光課 小田原市観光課 箱根温泉旅館ホテル協同組合青年部 神奈川県ラグビーフットボール協会 小田原箱根商工会議所 ヒルトン小田原リゾート&スパ 株式会社 街かど案内所	株式会社T-FORESTRY FM小田原株式会社 小田原プロモーションフォーラム 箱根プロモーションフォーラム 神奈川県ラグビーフットボール協会

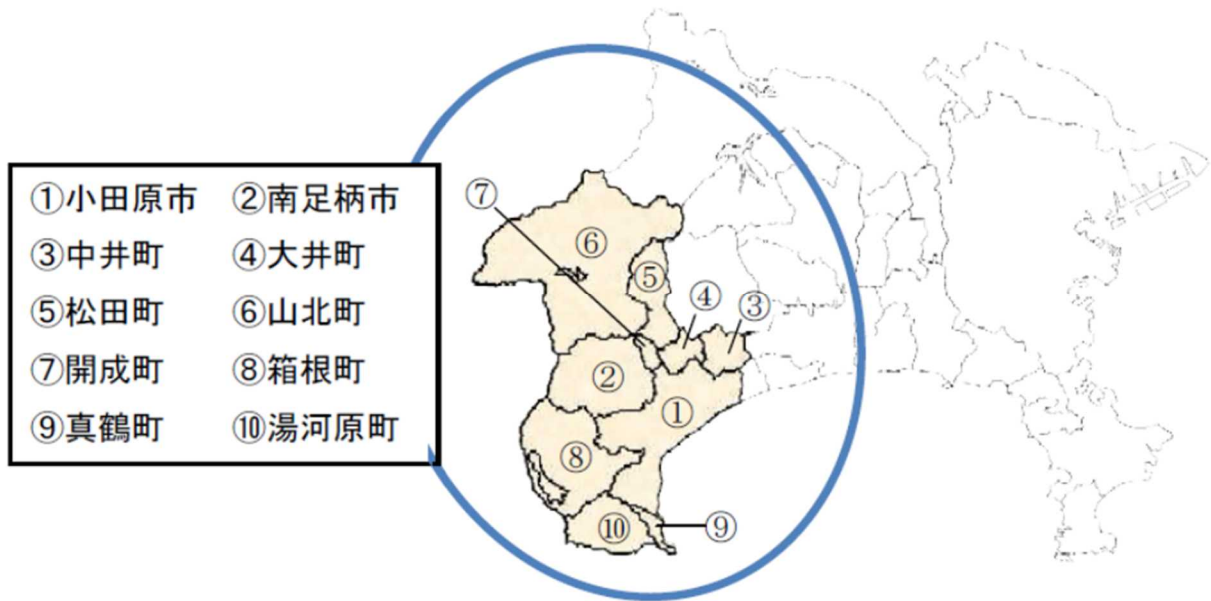
コンテンツ別事業推進

アクティビティ スポーツ	食	アート・文化	宿泊・温泉	交通	おみやげ	環境・自然
株式会社T-FORESTRY 小田原サイクリングプロジェクト ヒルトン小田原リゾート&スパ 神奈川県ラグビーフットボール協会	小田原食品衛生協会 小田原箱根商工会議所 小田原青年会議所 小田原プロモーションフォーラム	箱根プロモーションフォーラム FM小田原株式会社 小田原市観光課 箱根町観光課	箱根温泉旅館ホテル協同組合青年部 ヒルトン小田原リゾート&スパ 小田原市観光協会 箱根町観光協会	小田原市産業政策課 県西地域県政総合センター 小田原市観光協会 箱根町観光協会 箱根町企画課	株式会社ういらう 小田原箱根商工会議所 小田原プロモーションフォーラム	箱根町企画課 県西地域県政総合センター 小田原青年会議所 小田原市観光課

※合意形成においては、上記のDMO会員の各関係者が一堂に参加する例会を毎月1~2回開催し、意見を徴収するとともに、かながわ西観光コンベンションビューローの理事会を毎月1~2回開催し、中核的立場として、意思決定を行っている。

2. 日本版DMO候補法人がマーケティング・マネジメントする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

区域を構成する地方公共団体と商工関係団体、観光関係団体、企業等で組織する「県西地域活性化推進協議会」を平成 25 年から設置し、区域内の豊富な地域資源を生かした「県西地域活性化プロジェクト」を推進してきた。このプロジェクトでは「未病を改善する」をキーワードに、各地域の魅力をつなげて新たな価値を創出する取組を実施している。

当該区域は里山の広がる足柄上郡と、箱根など観光地・温泉地を有する足柄下郡から構成され、区域内の連携により多様な観光コンテンツの構築が可能となる。また、地域連携の面からみても「足柄地域」としての認識が従来から存在することから、区域内の市町村全域を区域として設定し、更なるプロモーションにより誘客拡大と産業活性化を図る。

【観光客の実態等】

神奈川県が実施する入込観光客数調査（平成 26 年度）の数値としては、神奈川県西部地域全体で約 3,400 万人の来訪客を受け入れている。また、海外からの旅行客としては、多くの個人旅行客が小田原や箱根を訪れている。

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

富士箱根伊豆国立公園や丹沢大山国定公園に代表される豊かな森林と相模湾を有し、山と海の豊かな自然に恵まれる。また、箱根、湯河原、山北などの温泉地を有するほか、豊富な海の幸、山の幸があり食に関する観光資源も豊富である。

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

※区域全体の宿泊施設数は約 2,000 施設。

〈収容人員の多い主な市町の状況〉

■小田原市

ホテル：ヒルトン小田原リゾート&スパ（小田原市根府川） 収容人員約 530 人

ビジネスホテル：小田原駅周辺を中心に 13 施設、収容人員約 580 人

旅館、その他宿泊施設：小田原駅及び根府川中心に 11 施設、収容人員約 200 人

■南足柄市

(別添) 様式 1

<p>ホテル、旅館等 9 施設、収容人員約 1,300 人</p> <p>■箱根町</p> <p>宿泊施設全体で 420 施設、約 27,600 人 (内訳) 旅館・ホテル：193 施設、収容人員約 18,500 人 寮・保養所、その他宿泊施設：227 施設、収容人員約 9,100 人</p> <p>【利便性：区域までの交通、域内交通】 都心部から東海道新幹線や小田急線特急で 30 分～2 時間圏内にあり、鉄道による首都圏からのアクセス、利便性は高く、区域内を通る小田急線を利用して各地域に行くことができる。また、東名高速道路が区域内を通り、自動車によるアクセスも良い。中部、関西方面からも東海道新幹線や東名高速道路を利用し、アクセス可能である。</p> <p>【外国人観光客への対応】 小田原、箱根の観光客を中心に個人の外国人観光客が増加しており、環境整備に取り組んでいる。フリーWi-Fi の整備や外貨の両替サービス所の開設、観光案内所への外国語案内ができるスタッフの配置、多言語表記によるパンフレット作成や案内表示の整備、外国人観光客専用の割引周遊券の発売などを実施してきた。今後も更なる外国人観光客の増加が見込まれることから、引き続き受入環境整備に取り組んでいく方針である。</p>

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
WEBサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	各観光協会等の web サイトを活用して実施。
入込観光客調査	来訪者数の把握。	各自治体から情報を収集。
観光満足度調査	来訪者の滞在時間や来訪頻度等二重把握のため。	主要観光施設での来訪者アンケートを実施。
外国人の旅行動態調査	国別・旅行種別の動態等を把握するため。	既存の調査データから情報を把握。
宿泊施設調査	宿泊者数と消費額を把握するため。	主要な宿泊施設を対象としたアンケートを実施。

4. 戦略

(1) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<p>強み (Strengths)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏からのアクセスの良さ ・箱根、小田原など集客力のある観光地 	<p>弱み (Weaknesses)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内連携が弱い ・都心から近いため日帰り客が多く、1人あたりの消費額が小さい ・休日やシーズン時の混雑
外部環境	<p>機会 (Opportunity)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客、特に個人旅行者の増加 ・2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催 ・2019 年ラグビーワールドカップ開催 	<p>脅威 (Threat)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉や日光など、関東各地の近隣他地域の観光地との競合

(別添) 様式 1

	<p>・海、山、温泉など、広域観光圏でみると多様な観光資源が揃っており、連携の機運が高まっている。</p>	
--	---	--

(2) ターゲット

<p>○第1ターゲット層 首都圏在住の富裕層、こだわり層</p>
<p>○選定の理由、○取組方針 高級感のある観光地づくりを目指していること、現在首都圏からの観光客が全体の7～8割を占めることから選定。 付加価値の高い観光地づくりを進め、リピート率の向上、連泊による旅行消費額の向上を図る。</p>
<p>○第二ターゲット層 欧米、中東、アジアの富裕層、個人旅行者</p>
<p>○選定の理由、○取組方針 高級感のある観光地づくりを目指していること、外国人旅行者の特に個人旅行者が増加傾向にあることから選定。 リゾート地の整備のほか、温泉や里山での日本らしい体験ができる体制整備を進める。 海、山、温泉など多様な観光資源を区域内で楽しめるよう、県西部の周遊性を高める。</p>
<p>○第三ターゲット層 30～40代東京、県内女性</p>
<p>○選定の理由、○取組方針 首都圏からの立地の近さから、ちょっとでかけたくなる旅を訴求していくため、選定。 観光客とまち、観光客と地域住民、まちとまちをつなげる情報発信や滞在型プログラム構築を進め、県西部の周遊性を高める。</p>

(3) コンセプト

<p>①コンセプト</p>	<p>海+里山+温泉、上質の癒しとおもてなし “Kanagawa West”</p>
<p>②コンセプトの考え方</p>	<p>神奈川県西部にある海や里山、温泉地など多様な観光地を連携させ、上質の癒しとおもてなし環境を創出することで、来訪者の満足度、リピート率の向上を図る。 国内外の富裕層、準富裕層の集客を強化し、旅行消費額の増加を目指す。 観光を軸とした交流と連携により地域経済循環の向上や地域の雇用創出を生み出し、県西部全体で地域振興を図る。</p>

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有	多様な関係者で組織する理事会・部会での検討、構築を定期的に取り組む。 具体的には、DMO内にて、関連事業者から成るプロジェクト・マーケティングチームやプロダクトプロモーションセールsteamを組織化し、月に1回程度、議論を進めるとともに、関連事業者に対してのコンサルティング等を実施。
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	月1回の定例会にて、イベント・事業・プロモーションなどエリア情報の共有を実施するほか、情報収集のためのフォーマットを作成しメールで回収するシステムを確立する。 定期的な理事会・部会等の各会議の場で定性的・定量的な相互評価を行い、サービスの維持・向上を図る。
一元的な情報発信・プロモーション	ホームページ制作、ホームページと連動した情報誌の発行、プロモーション動画製作を行う。 「Link Trip - Kanagawa West -」を媒体名として、「つなげる、つながる、つながり、むすぶ」をコンセプトに、観光客と住人をつなげる／町と町がつながる／人と町がつながるを実現化する、もっと神奈川西エリアの旅を大きく楽しめる観光情報を発信する。

6. KPI (実績・目標)

(1) 必須KPI

指標項目	単位	平成28年 (度)	平成29年 (度)	平成30年 (度)	平成31年 (度)	平成32年 (度)	平成33年 (度)
●旅行消費額 <small>※平成26年調査 1,097億円</small>	億円	1,108 〈実績〉	1,177	1,206	1,236	1,267	1,299
●延べ宿泊者数 <small>※平成26年調査 559万人</small>	万人	531 〈実績〉	608	625	642	660	665
●来訪者満足度 <small>※平成26年調査 83.2% (宿泊客で「大いに満足」と答えた方の割合)</small>	%	83.4 〈目標〉	83.6	83.9	84.2	84.6	85.0
●リピーター率 <small>※平成26年調査 97.1%</small>	%	97.1 〈目標〉	97.2	97.3	97.4	97.5	97.6

※外国人観光客に関する目標数値は、DMO設立後に調査を取り始め、毎年1%程度の増加を図っていく。

※年次及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

県西地域では、2011年の東日本大震災以降、観光客数は増加傾向にあったが、2015年の大涌谷の事象により、箱根を中心に減少した。大涌谷の事象が落ち着いたことや、インバウンド観光客が増加したことにより、再び増加傾向となっている。

このような背景のもと、マーケティング、プロモーション、商品づくりなどにより、観光客数を県西エリア全体で増加させていくとともに、観光の質を高めていくことで、旅行消費額、来訪者満足度、リピーター率の向上を目指す。

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

平成26年実績をもとに、延べ観光客数、延べ宿泊数の増加や平均消費額を踏まえて、目標を設定した。

●延べ宿泊者数

平成26年実績をもとに、徐々に向上させ、平成33年に15%以上増の665万人を目標とした。

●来訪者満足度

平成26年実績をもとに、徐々に向上させ、平成33年に85%を目標とした。

●リピーター率

平成26年実績をもとに、徐々に向上させ、平成33年に97.6%を目標とした。

(別添) 様式 1

(2) その他の目標

指標項目	単位	平成 28 年 (度)	平成 29 年 (度)	平成 30 年 (度)	平成 31 年 (度)	平成 32 年 (度)	平成 33 年 (度)
●延べ観光客数 <small>※平成 26 年調査 3,406 万人</small>	万人	3,392 <実績>	3,712	3,814	3,916	4,019	4,050
●日帰り客数 <small>※平成 26 年調査 2,847 万人</small>	万人	2,862 <実績>	3,103	3,188	3,273	3,360	3,400
●宿泊客の平均 消費単価 <small>※平成 26 年調査 31,483 円</small>	円	31,600 <目標>	31,800	32,000	32,300	32,600	33,000
●日帰り客の平 均消費単価 <small>※平成 26 年調査 8,006 円</small>	円	8,100 <目標>	8,200	8,300	8,410	8,530	8,650

※外国人観光客に関する目標数値は、DMO 設立後に調査を取り始め、毎年 1%程度の増加を図っていく。

※項目及び年次・目標数値の設定にあたっての検討のプロセス及び考え方

【検討の経緯】

県西地域では、2011 年の東日本大震災以降、観光客数は増加傾向にあったが、2015 年の大涌谷の事象により、箱根を中心に減少した。大涌谷の事象が落ち着いたことや、インバウンド観光客が増加したことにより、再び増加傾向となっている。

このような背景のもと、マーケティング、プロモーション、商品づくりなどにより、観光客数を県西エリア全体で増加させていくとともに、観光の質を高めていくことで、宿泊客や日帰り客の平均消費単価の向上を目指す。

【設定にあたっての考え方】

●延べ観光客数

平成 26 年実績をもとに、日帰り客数、延べ宿泊数の増加を踏まえて、目標の設定した。

●日帰り客数

平成 26 年実績をもとに、徐々に向上させ、平成 33 年に 20%以上増の 3,400 万人を目標とした。

●宿泊客の平均消費単価

平成 26 年実績をもとに、徐々に向上させ、平成 33 年に 33,000 円を目標とした。

●日帰り客の平均消費単価

平成 26 年実績をもとに、徐々に向上させ、平成 33 年に 8,650 円を目標とした。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

(1) 収入

年度	総収入 (円)	内訳
平成28年度	6,106,299 (円)	【補助金】 2,098,981 【広告料】 2,205,000 【会費収入】 1,350,000 (消費税) 452,318
平成29年度	8,208,000 (円)	【補助金】 1,300,000 【広告料】 3,900,000 【会費収入】 2,400,000 (消費税) 608,000
平成30年度	8,208,000 (円)	【補助金】 1,300,000 【広告料】 3,900,000 【会費収入】 2,400,000 (消費税) 608,000
平成31年度	8,208,000 (円)	【補助金】 1,300,000 【広告料】 3,900,000 【会費収入】 2,400,000 (消費税) 608,000
平成32年度	8,208,000 (円)	【補助金】 1,300,000 【広告料】 3,900,000 【会費収入】 2,400,000 (消費税) 608,000

(2) 支出

年度	総支出	内訳
平成28年度	6,106,299 (円)	【人件費】 雇用者給与、保険等 【バイト人件費】 キャンペーン人員 【事業費】 事務機器、通信費等 【企画実施費用】 事務局運営費、会議費、リーフレット 【一般管理費】 事務所賃貸料、光熱水費等
平成29年度	8,100,000 (円)	【人件費】 雇用者給与、保険等 【バイト人件費】 キャンペーン人員 【事業費】 事務機器、通信費等 【企画実施費用】 事務局運営費、会議費、リーフレット 【一般管理費】 事務所賃貸料、光熱水費等
平成30年度	8,100,000 (円)	【人件費】 雇用者給与、保険等 【バイト人件費】 キャンペーン人員 【事業費】 事務機器、通信費等 【企画実施費用】 事務局運営費、会議費、リーフレット 【一般管理費】 事務所賃貸料、光熱水費等
平成31年度	8,100,000 (円)	【人件費】 雇用者給与、保険等 【バイト人件費】 キャンペーン人員 【事業費】 事務機器、通信費等 【企画実施費用】 事務局運営費、会議費、リーフレット 【一般管理費】 事務所賃貸料、光熱水費等
平成32年度	8,100,000 (円)	【人件費】 雇用者給与、保険等

(別添) 様式 1

	【バイト人件費】 キャンペーン人員 【事業費】 事務機器、通信費等 【企画実施費用】 事務局運営費、会議費、リーフレット 【一般管理費】 事務所賃貸料、光熱水費等
--	--

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

お土産品の開発・販売による収入の確保
加工施設等の指定管理受託の検討・実施による財源確保
広告料収入、会費収入

8. 日本版DMO形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、県西地域県政総合センターは、一般社団法人かながわ西観光コンベンション・ビューローを当該都道府県及び市町村における地域連携DMOとして登録したいので一般社団法人かながわ西観光コンベンション・ビューローとともに申請します。

9. 記入担当者連絡先

担当者氏名	中嶋 順
担当部署名 (役職)	(一社)かながわ西観光コンベンション・ビューロー 理事
所在地	神奈川県小田原市栄町 1-1-8
電話番号 (直通)	0465-20-9166
FAX 番号	
E-mail	info@kanagawacvb.com

10. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	神奈川県 (県西地域県政総合センター)
担当者氏名	中村 條二
担当部署名 (役職)	企画調整部 商工観光課 副主幹
所在地	神奈川県小田原市荻窪 350 番地 1
電話番号 (直通)	0465-32-8908
FAX 番号	0465-32-8111
E-mail	nakamura.74f2@pref.kanagawa.jp

都道府県・市町村名	小田原市
担当者氏名	木澤 克紀
担当部署名 (役職)	企画政策課政策調整係 係長
所在地	神奈川県小田原市荻窪 300 番地

(別添) 様式 1

電話番号 (直通)	0465-33-1315
FAX 番号	0465-33-1286
E-mail	kikaku@city.odawara.kanagawa.jp

都道府県・市町村名	南足柄市
担当者氏名	今井 直樹
担当部署名 (役職)	商工観光課 班長
所在地	神奈川県南足柄市関本 440 番地
電話番号 (直通)	0465-73-8031
FAX 番号	0465-70-1077
E-mail	

都道府県・市町村名	中井町
担当者氏名	寺澤 康隆
担当部署名 (役職)	企画課 主査
所在地	神奈川県足柄上郡中井町比奈窪 56 番地
電話番号 (直通)	0465-81-1112
FAX 番号	0465-81-1443
E-mail	

都道府県・市町村名	大井町
担当者氏名	青木 義則
担当部署名 (役職)	企画財政課 主任主事
所在地	神奈川県足柄上郡大井町金子 1995 番地
電話番号 (直通)	0465-85-5003
FAX 番号	0465-82-9965
E-mail	

都道府県・市町村名	松田町
担当者氏名	富士原 賢吾
担当部署名 (役職)	観光経済課 主事
所在地	松田町松田惣領 2037 番地
電話番号 (直通)	0465-83-1228
FAX 番号	0465-83-1229
E-mail	kankou@town.matsuda.kanagawa.jp

都道府県・市町村名	山北町
担当者氏名	佐藤 雅彰
担当部署名 (役職)	商工観光課 副主幹
所在地	神奈川県足柄上郡山北町山北 1301 番地 4
電話番号 (直通)	0465-75-3646
FAX 番号	0465-75-3661
E-mail	kankou@town.yamakita.kanagawa.jp

都道府県・市町村名	開成町
担当者氏名	鈴木 良亮
担当部署名 (役職)	まちづくり部産業振興課 商工担当 主事
所在地	神奈川県足柄上郡開成町延沢 773 番地
電話番号 (直通)	0465-84-0317
FAX 番号	0465-82-5234
E-mail	r.suzuki91@town.kaisei.kanagawa.jp

(別添) 様式 1

都道府県・市町村名	箱根町
担当者氏名	松島 基樹
担当部署名 (役職)	企画観光部観光課観光係 係長
所在地	神奈川県足柄下郡箱根町湯本 256
電話番号 (直通)	0460-85-7410
FAX 番号	0460-85-6815
E-mail	matsu@town.hakone.kanagawa.jp

都道府県・市町村名	真鶴町
担当者氏名	小清水 一仁
担当部署名 (役職)	企画調整課 企画情報係長
所在地	神奈川県足柄下郡真鶴町岩 244 番地の 1
電話番号 (直通)	0465-68-1131 (観光係 内線 333、334)
FAX 番号	0465-68-5119
E-mail	

都道府県・市町村名	湯河原町
担当者氏名	石黒 英亀
担当部署名 (役職)	観光課 課長
所在地	神奈川県足柄下郡湯河原町中央 2-2-1
電話番号 (代表)	0465-63-2111
FAX 番号	0465-63-4194
E-mail	

【区域】神奈川県西地域(小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町)

【設立時期】平成28年6月1日

【代表者】古川 達高

【マーケティング責任者】中嶋 順

【職員数】1人

【連携する主な事業者】株式会社いろいろ、FM小田原株式会社

小田急箱根ホールディングス、箱根プロモーションフォーラム、

小田原箱根商工会議所、小田原青年会議所、

箱根温泉旅館ホテル協同組合青年部、株式会社T-FORESTRY、

株式会社街かど案内所、(一社)小田原プロモーションフォーラム、

ヒルトン小田原リゾート&スパ、神奈川県ラグビーフットボール協会、

小田原サイクリングプロジェクト

(表：実施体制)

組織	<p>神奈川西観光DMO「かながわ西観光コンベンション・ビューロー」 マーケティングによる分析、戦略を考えた地域全体の経営を考える</p> <p>理事 古川 達高 小田原プロモーションフォーラム 代表理事 理事 津藤 謙 小田原箱根商工会議所 会長 幹事 橋本 伸介 FM小田原 株式会社 外部 武 株式会社いろいろ 形崎 尚人 小田原青年会議所 中嶋 順 小田原プロモーションフォーラム 2名8町 観光協会連合センターにて構成</p>	事務局 一社)小田原プロモーションフォーラム 拠点 ハルネ小田原 観光案内所 小田原市企画課(サポート)行動)
広域観光促進部会	<p>観光振興部会</p>	<p>観光促進部会</p>
<p>小田原観光協会 観光振興部会センター 箱根観光協会 株式会社いろいろ 小田原観光連合会 小田原プロモーションフォーラム 小田原観光連合会 小田原プロモーションフォーラム 小田原観光連合会 小田原プロモーションフォーラム</p>	<p>観光振興部会センター 観光振興部会 観光振興部会 観光振興部会 観光振興部会 観光振興部会</p>	<p>小田原市観光協会 小田原市観光協会 小田原市観光協会 小田原市観光協会 小田原市観光協会 小田原市観光協会</p>
<p>アクティビティ スポーツ 観光協会 観光協会 観光協会</p>	<p>アート文化 観光協会 観光協会 観光協会 観光協会 観光協会</p>	<p>観光振興部会 観光振興部会 観光振興部会 観光振興部会 観光振興部会 観光振興部会</p>

(表：KPI(実績・目標))

	28年(度)	29年(度)	30年(度)	31年(度)	32年(度)
旅行消費額(億円)	1,108 <実績>	1,177	1,206	1,236	1,299
延べ宿泊者数(万人)	531 <実績>	608	625	642	660
来訪者満足度(%)	83.4 <目標>	83.6	83.9	84.2	84.6
リピーター率(%)	97.1 <目標>	97.2	97.3	97.4	97.5

※外国人観光客に関する目標数値はDMO設立後に調査を取り始め、毎年1%以上の増加を図る。

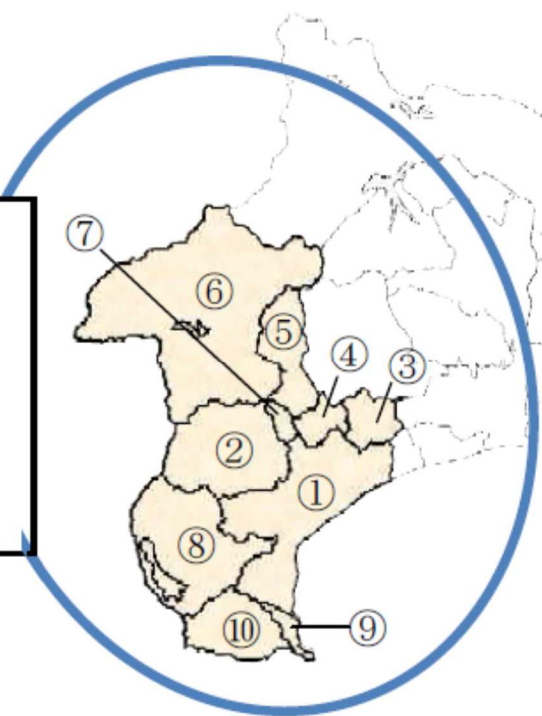
広報宣伝・プロモーション

- ホームページの制作
- ウェブ上での情報配信
- 情報誌発行、支援
- プロモーション動画製作
- Facebook、InstagramなどSNSの整備
- 関東圏でのPR
- 神奈川県連動での海外プロモーション

マーケティング調査

- 主要観光施設でのアンケート調査実施による観光満足度の把握
- 各自治体からの情報をもとにした入込観光客調査の実施
- 主要宿泊施設に対し宿泊者数と消費額を把握するためのアンケート調査の実施
- 既存の調査データによる外国人旅行者の旅行動態の把握

- ①小田原市
- ②南足柄市
- ③中井町
- ④大井町
- ⑤松田町
- ⑥山北町
- ⑦開成町
- ⑧箱根町
- ⑨真鶴町
- ⑩湯河原町



外国人誘客

- 外貨の両替サービス所の開設
- 観光案内所への外国語案内ができるスタッフの配置
- ウェブでの外国人向け情報発信の強化
「LOCAL JAPAN」の活用
- 多言語表記によるパンフレット作成や案内表示の整備
- フリーWi-Fiの推進と整備
- 外国人観光客専用の割引周遊券の発売

ブランド力向上

- 神奈川県の魅力を感じさせる環境整備やプロジェクトの充実
- エリア全域での食やお土産、宿泊施設、温泉、文化などの観光コンテンツの把握と発信
- 各団体・行政企画のイベント・ツアー・講演などの情報発信
- 横断的な推進体制の構築
- 海、山、温泉など多様な観光資源を区域内で楽しめる周遊プログラムの企画